

HORIKAWA 112th



同窓会会長
市田ひろみ

伝統の儀式

2019年は、日本にとって大きな変化の年となった。

元号が平成から令和になり、大きな儀式が古式にのっとり次々と行われる。一二六代の若き天皇の誕生だ。

テレビで即位の式典を見たが、40分の式典は1000年も

継続して行われた古式にしたがった見事な儀式だった。世界中から招待されたゲスト1,999人。皇居、松の間で行われた。

いずれも王族、大統領、首相とこれだけのトップが出席するのも珍しい。40分の式典は音の無い世界。誰一人、話し声はおろか、咳ばらいする人も無く、日本の伝統的な儀式に見入っていた。

世界中で王室が1000年以上続いている国は日本だけ。極めて珍しいお国柄だ。

天皇は古式の装束、黄櫛染（こうろぜん）の御袍、うるしの高御座（たかみくら）。隣に十二単の皇后は、禁色といって天皇皇后しか着用を許されていない色の、天皇家の第一礼装だ。

厳粛な中で天皇がみずから即位したことを宣明なさる。皇族方も第一礼装のよそおい。巨大な1000年前のドラマを見ている思いだ。

世界中からこの即位の儀式に出席するために、日本まで来てくれた元首達はおそらく自国へ帰ってこの壮大な儀式のことを語ってくれることだろう。

日本ですごいよ。万世一系の天皇を象徴として伝統を守ってきたのだと語ることでしょ。来年4月まで即位の関連事業は続くが世界中のマスコミもすべて好意的であった。

私は何よりも日本人が伝統を守って来たこと、そして新天皇を迎えて、皇室と国民の間の距離が近くなったことを感じた。

日本はノーベル賞も多く受賞する知的人材も多いが、文民を守って来たこともすごいと思う。

同窓生や在校生は即位をどのように感じただろうか。



堀川高校校長
谷内秀一

Silhouette (シルエット)

日頃は母校の教育活動に対しましてご理解とご支援、ご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

2019年5月から元号が平成から令和に移ることもあり、本年度の同窓会総会は、4月20日（土）に開催し、「平成最後の同窓会」ということで堀川同窓会第111回総会が盛大に開催されました。会場では今年度も卒業生

6名に同窓会奨学金を授与いただき、誠にありがとうございました。

今年度も生徒たち現役生は学習活動に、探究活動に全力でチャレンジしました。進路実現では、京都大学に現役生30名、卒業生21名、計51名の合格をつかみました。探究活動においては、探究基礎という授業を中心に生徒一人ひとりが各方面に挑戦しています。昨年3月には生徒4名がSSH（スーパーサイエンスハイスクール）指定校の事業として、ドイツのカールスルーエ教育大学にて、ドイツにおいて技術系教材として長年用いられている「フィッシャーテクニク」のワークショップに参加し、英語によるコミュニケーション能力の向上を図りながら、「空間認識力」「想像力」「論理的思考力」を養うための武者修行として、海外へ出向いての活動に初挑戦しました。

そして、令和元年（2019年）10月4日にカタールのドーハで開催された「2019年世界陸上競技選手権大会男子20km競歩」にて、平成25年度（2013年度）卒業の山西利和さんが、見事に金メダルを獲得いたしました。今回の金メダルで2020年東京オリンピック代表にも内定いたしました。東京オリンピックでは、金メダルを目指して全力でチャレンジしてほしいです。同窓会のみなさま、応援よろしくお願ひいたします。

素晴らしい先輩がいてくださることは私たちの誇りです。堀川高等女学校から始まる111年の本校の歴史の中には、多くの尊敬すべき先輩方がいらっしゃいます。先輩に追いつき、追い越すべく、今堀川に在籍し、様々な活動にチャレンジしている現役生への叱咤激励をお願いしたいと思います。活動を通して生徒たち一人一人は、失敗もしながら自己と向き合い、自分というオリジナルのシルエットを作り上げながら、成長していきます。どうぞ応援、宜しくお願ひいたします。

最後になりましたが、市田ひろみ会長を中心に堀川同窓会のゆるぎないつながりを保ち続けられますことと同窓会の皆様のますますのご健康とご多幸をお祈り申し上げます。今後とも母校への変わらぬご理解とご支援を賜りますよう心からお願い申し上げます。

堀川高校出身の山西利和選手(20km競歩) 世界陸上で金メダル獲得・東京オリンピック代表内定!!

世界陸上で見事優勝を果たした同窓生(高66期卒)の山西利和さん(愛知製鋼陸上競技部所属)が、東京オリンピックの代表選手に内定しました。同窓生の活躍に心躍る方も多いかと思います。そこでご本人から競歩との出会いや高校時代の思い出、そしてオリンピックに対する意気込みなどをお伺いしました。



【プロフィール】

山西 利和 YAMANISHI Toshikazu

20km競歩選手(愛知製鋼陸上競技部所属)

1996年長岡京生まれ。(23歳)小学校時代のマラソン大会で好成績を収めたことから陸上を始める。

中学時代は3000mのトラックランナーだったが、堀川高校に入学後、恩師の船越康平先生に見いだされ競歩に転向。高校3年の時(2013年)に出場した世界ユース陸上競技選手権(ウクライナ)の男子10000m競歩で日本人選手として同種目初優勝を果たす。

エリート選手として関東の陸上強豪大学に入

学することもできたが、京都大学に入学。文武両道を貫く。大学4年時にユニバーシアード(中華民国・台北市)に出場、金メダルを獲得する。京都大学卒業後、愛知製鋼へ実業団選手として入社。2019年10月の世界陸上競技選手権大会(カタール・ドーハ)に出場、高温多湿の過酷な環境の中、見事金メダルに輝き、同種目、日本人初の金メダル獲得者となった。

20km競歩、東京オリンピック代表内定選手。

11月7日、京都市スポーツ最高栄誉賞を門川市長より授与される。

(写真:中部実業団陸上競技連盟提供)

Q. 陸上を始めるきっかけとありますが、最初に興味を持ったのはいつ頃だったんですか?

A. 小学校4年生の校内のマラソン大会で、長距離走の楽しさを感じたことがキッカケでした。3年生まではからっきしでしたが、その年はそこに向けて少し練習したところ、記録や順位がぐんと伸び、嬉しかったことを覚えています。

Q. 堀川高校で競歩を始められたそうですが、そのきっかけについて船越先生との出会いなども含め、お聞かせいただけますか?

A. 初めは長距離走、主に5000mをしたいと思い、堀川の陸上部に入部しました。高校1年生の6月頃に、競歩をしておられる先輩方の姿を見て興味が湧き、また顧問の船越先生の勧めもあって、自分もやってみようと思い、競歩種目にチャレンジしました。

Q. 堀川高校での高校生活で印象に残っていることや、思い出などは?

A. 思い出として残っているのは、部活動や受験期のことばかりです。部活での日本一や受験での合格といった、目標に向けて仲間と苦楽を共にし、目の前のことに一心不乱に取り組んだ日々は、今となっては良い思い出と感じます。

Q. 高校時代から競技において成績を残していたことで、他の大学への選択肢もあったかと思いますが、文武両道を貫き京都大学に入学されたのはどうしてですか?

A. もともと高校入学時に京都大学に入りたいという漠然とした目標があったこと、競技はいずれ辞めるので、その先の選択肢を増やしておくといった観点などから、京都大学を目指しました。

Q. 競歩という競技の面白さ、奥深さなどをお聞きしたいのですが?

A. 競歩は陸上競技では唯一、フォームによる判定・失格のある競技です。他の種目以上に、技術的な側面が速さや勝負に大きく絡んでくることが、奥深さであり、面白さであると感じています。

～ 堀川高校での船越教諭との出会い ～



世界ユース金メダル獲得（高3）



大学入学

山西選手が現在の成績を収めるようになるまでには、堀高陸上部顧問として競歩を始めるきっかけを作り、その後、京大時代もコーチとして二人三脚で山西選手を支えてきた船越康平先生が存在がありました。

【プロフィール】

船越 康平 FUNAKOSHI Kohei

1973年 京都市生まれ（46歳）

京都の公立高校卒業後、関東へ移住。大学卒業後、東京都内の出版社に就職。陸上競技選手としても活動する。

その後、JICA（国際協力機構）より、アフリカ・ジブティ共和国へ派遣され、3年間活動する。現地陸連のコーチ兼テクニカルアシスタントとして、世界陸上カナダ大会、フランス大会他、多くの国際大会にスタッフとして参加した。

帰国後、京都へ帰郷し国語科教員となる。複数校勤務を経て、2008年堀川高校へ赴任。2016年3月まで、8年間10学年の堀川高校生と関わった。陸上競技部顧問として、山西選手を指導。京都大学に専門のコーチがいないため、高校卒業後も指導を続ける。実業団選手となった今も、直接・間接のアドバイスを続けている。

2016年より、京都工学院高校勤務。

Q. これだけすごい成績を収められるには、山西さんの競技における強みや持ち味があるかと思うのですが、ご自身ではどのように感じていらっしゃいますか？

A. フォームの安定感や、苦しいところでの粘りが強みではありますが、そこも含めてまだまだ発展途上です。そうした課題解決のための思考力といった力が、最も強みなのではないかと最近は感じています。

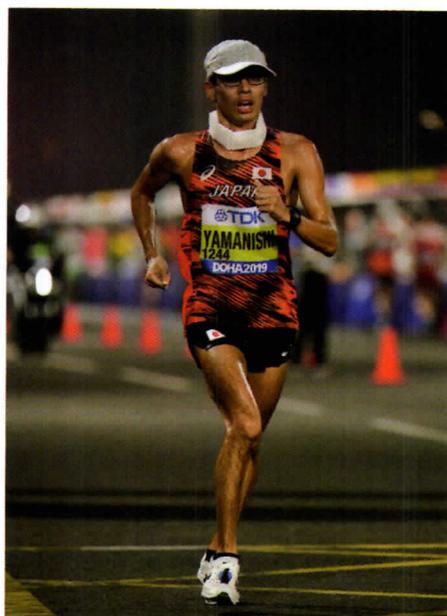
Q. ドーハでの戦いについて、大変な暑さで過酷な中でのレースでの勝因は？

A. 非常に蒸し暑い中でのレースでした。気温30℃、湿度80%だったそうです。そうした暑さへの対策・準備を怠ることなく、自分の力を発揮出来るような状態を整えることが出来たことが、結果に繋がったのではないかと思います。

Q. 最後に東京オリンピックを迎えるにあたって、堀川の同窓生に何かメッセージを頂けますか？

A. いつも応援頂きまして、ありがとうございます。こうし

て応援して頂けることが何より励みになります。金メダル獲得を目指して精進して参りますので、今後とも何卒宜しくお願い致します。



（写真：中部実業団陸上競技連盟提供）

第111回堀川同窓会 開催報告

第111回堀川同窓会は、程なく、元号が令和に変わろうとする平成31年4月20日（土）、京都東急ホテル（五条堀川）に於いて「平成最後の堀川同窓会」というテーマのもと170名近い参加者を集め盛大に開催されました。

本年の同窓会は卒業生の中から、昭和から平成にかけて大活躍されてきた堀川OBの二人をお招きしました。元文部事務次官の佐藤禎一さん（高12期卒）の講演、元NHK交響楽団の首席トランペット奏者の北村源三さん（高音7期卒）の演奏など、盛りだくさんの内容で開催しました。また関西テレビ新実彰平アナウンサーの軽妙な司会、進行により、和やかな雰囲気の中、楽しく、興味深く、そして感動する時間を過ごしました。



受付の準備も整いました



会場入り口で皆様をお迎えする
(写真左から)伊藤実行委員長、中村副会長、山口理事、林理事、市田会長、石田理事



市田会長の開会のご挨拶にて
同窓会が始まりました



今年も乾杯の音頭は門川市長



谷内校長のご挨拶



(写真左から)奨学生の 稲村飛翔さん、井上麟太朗さん、平賀洵史郎さん
中司菜琴さん、柴田麗華さん、梅棹詩音さん



司会は関西テレビ報道ランナーの
メインキャスターの新実彰平さん
副実行委員長の新実さんの長男です

会場の様子





佐藤氏の講演 『100年後をたゆたう』

佐藤 禎一 氏

1941年生まれ
堀川高校卒業後、京都大学法学部を経て文部省に入省
文化庁次長・学術国際局長・大臣官房長を経て1997年に
文部事務次官
退官後、日本学術振興会理事長・ユネスコ日本政府代表
部特命全権大使・東京国立博物館長を歴任し、現在、NPO
法人大学経営協会会長・政策研究大学院大学客員教授
著書 講演多数



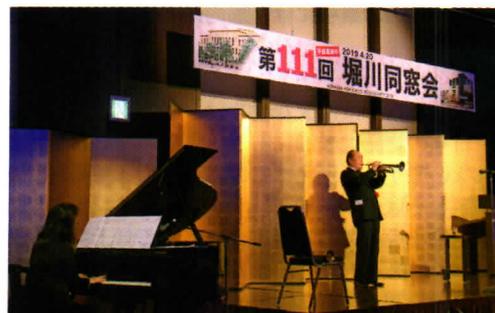
北村氏の演奏 ラ・ボエームより 『ムゼッタのアリア』
トゥーランドットより 『誰も寝てはならぬ』
カッチーニの 『アヴェマリア』

北村 源三 氏

1937年生まれ
堀川高校卒業後東京芸術大学にて学ぶ
1960年NHK交響楽団に主席トランペット奏者として入団
62年から65年までウィーン国立アカデミーに留学
以後永年に渡り活躍し、93年に定年退職後もソロやアン
サンブルなど数多くの演奏活動を行うと共に、国立音大
や東京芸大などで後進の指導を行う
元日本トランペット協会会長
現在、京都堀川音楽高校の芸術顧問も務める
録音CDなど多数



会場の様子



北村氏の演奏の伴奏は奥様の北村レイ子さん



実行委員よりお礼のご挨拶



生徒会歌「緑なす森」をみんなで歌いました



山口理事による閉会のご挨拶

実行委員会より

昨年の同窓会は、例年通り還暦を迎える学年の昭和53年卒(高30期)が担当いたしました。テーマに沿って平成最後の同窓会にふさわしい会になるよう、何度も打合せを重ね、企画を練って参りました。楽しい同窓会には料理も重要な要素と考え、年配の方々が立ち上がって料理を取りに行く必要のないよう、テーブルに料理や飲み物を運んでいただき、テーブルビュッフェのスタイルで京

都東急ホテルのシェフに腕を振るっていただき、出席者の方々からもご好評をいただきました。

ご講演・演奏いただいた佐藤様、北村様はじめ、堀川同窓会役員の方々、写真を撮っていただいた牧様、バナーや名札を作っていただいた河岸様など、素晴らしい諸先輩方のお力添えにより滞りなく開催できましたことを、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

第111回堀川同窓会実行委員長 伊藤文彰

山口富蔵 理事（高7期卒） 訪問インタビュー

堀川同窓会の理事を務めて頂いている方々の中から、今回は山口富蔵さんを訪ね、そのお仕事や同窓会について様々なお話を伺いました。

山口さんは京都に数ある和菓子屋さんの中でも、茶道御家元、寺社仏閣の御用を数多く務める京菓子司「末富」の三代目・会長として、83歳の今もなお幅広く活躍されています。

【プロフィール】

1937年生まれ 1955年堀川高校卒業（高7期）
関西学院大学経済学部卒業後、東京銀座「松崎煎餅」さんにて1年間修行。
その後、父・竹次郎のもとで家業に従事。
1970年春より「亀屋末富」（明治26年創業）三代目を継承する。
1989年、株式会社「末富」代表取締役社長に就任。
2018年、株式会社「末富」代表取締役会長に就任。
本店のほかに高島屋（京都・大阪・東京日本橋・新宿）に出店。
茶道各御家元の御用を務めると共に各宗本山にも出入り、御用を務める。
裏千家学園講師、京都精華大学、京都造形大学、京都産業大学、同志社大学非常勤講師、朝日カルチャーセンターなどでも講師を務める。
「京菓子読本」 中央公論社
「京菓子歳時記」 光村推古書院
京・末富「菓子こよみ」 淡交社
菓子司・末富「京菓子の世界」 世界文化社



～ 京菓子を通して文化を伝える ～

Q.（蕎麦と白小豆を使ったお菓子「木枯らし」とお抹茶を頂きながら…）このお菓子には直感的に冬を感じさせる何かがありますね？

A. 季節はお菓子作りには欠かせない、ものすごく大切な要素ですね。日本の物語は季節にあり、季節に関心がなければ菓子は作れないですね。例えばこのお菓子には蕎麦粉が使っており、年越しそばのイメージにつながります。餡も単なる白餡ではなく白小豆を使うことによって色の仕上がりもよく、雪のイメージもあり、豆の皮まで美味しく食べられます。11月までは紅葉ですが12月初めの今頃はもう冬や雪のイメージです。季節を感じるには俳句を勉強するのがいいですね。昔の菓子屋は、結構俳句を勉強したものです。

Q. 京菓子が一般的な和菓子と違う点は何でしょうか？

A. 結局、京都のお菓子はお公家さんの文化なんです。京菓子司と司（つかさ）がついているのはそういうところに納めてきたということ。京都では菓子屋と饅頭屋、餅屋ははっきりと区別されてきました。実は組合も違うんです。菓子屋から暖簾分けして枝分かれしていったのが、京都の菓子屋。そこでは決まったお客さんに売るのが本来の形で、通りがかりでお客さんが店に買いに来るものではなかったですね。上得意に対してその要望によって注文生産するのが京菓子だったんです。

Q. 実はお店に商品が少ないと感じたのですが、今もそのスタイルを貫いていらっしゃるのですか？

A. これでも商品並べすぎです（笑）
時代が違うので今はそういうわけにもいきませんが、昔は店に商品を並べて売ることがなかったですね。見本箱を出して注文を聞くので、暖簾さえあればよかったんですよ。昔はどのお寺さんにも出入りしているかとかが暖簾でした。

Q. 以前に出演されたNHKの「プロフェッショナル」という番組のなかで源氏物語をテーマに、すごく追求してお菓子を作られているのを見ましたが、そこでは新しいものを創作されていました。

A. お茶会のテーマである源氏物語の、この巻の内容をイメージして作ってほしいと言われれば、それを作らないといけません。ないものを作り出すので物語や背景を知らなければ作れないし、当然こちらも勉強する。そして食べ手の側は、その文化的な背景を想像し理解することでよりそのお菓子のことを楽しめるということです。かわいい、きれい、めっちゃうまいという価値観とは違う世界です（笑）

Q. 作り手も食べ手もお互いに、お菓子を通じて歴史や物語を勉強し、楽しむというのはまさしく文化ですよね？

A. 確かに単なる食ではない。それを超えた文化的なものがあってこそ初めて京菓子といえます。やはり少しお茶をたしなむことで、より菓子を楽しめるようになると思いますよ。

Q. 京菓子を含め、本当に京都の文化的レベルは高い。

A. 折角の京都を、連綿と続いてきたものを残すことをしないと意味がないでしょ？
それは決して京都をブランドとして売ることではなく、京都に文化として根付いてきたものです。父もものすごく文化や季節と菓子の世界との繋がりを大切にしていました。

Q. 東京の武家文化とは違いますよね？

A. ただ京都だけしか知らないのではなく、東京のことも知ったほうがいいと思います。
私は大学を出てその日の夜行で東京に行き、1年間の丁稚奉公をするとともに歌舞伎、寄席などに沢山触れました。東京を見たことは、私にとってはとてもよかったですよ。最近、歌舞伎をテーマにしたお菓子の注文が入ったときには、その時の経験が活かされました。

Q. 活き活きと楽しんでお菓子を作られているように感じますが

A. そりゃ作ることも楽しんでます。例えば穴をあけて銀箔を振るだけでも、同じ場所ではだめなんです。ちょっとした感覚が必要で全部同じ形では面白くない。それは再現性を求めているわけではなく、やはり茶の湯の一期一会の世界にもつながること。一つずつちょっとずつ違うものを作らないと面白くない。

～ 堀川高校時代の思い出や今後の同窓会について ～

Q. それでは少し話を変えて、山口さんが過ごされた高校時代のお話を聞かせてください。

A. 堀川に入学したそのときから“目からうろこ”というような出来事の連続でした。中学時代はまだ教育にも進駐軍の影響が多く残る時代でしたが、堀川高校に入ったときから全く違う世界観でした。何かパーツと開けて、自分自身の殻を割るといふか…本当に個性的な先生方たちから、学校という垣根を超えた教育をしてもらいました。

例えば歴史の授業でも魏志倭人伝の原本を読み解いたりした。そのことが、後の私が高句麗に興味を持つことにもなりました。好色五人女を文庫本で読む授業では、女性の水浴びを望遠鏡でのぞくシーンがあるんですが、それで望遠鏡の使い方を覚えた(笑) 音楽でも美術でも同じで、生徒に興味を持たせるような教育だったと思います。私は美術部に入りましたが、なんとしよっぱなから裸婦のデッサンですよ！本当にびっくりしました(笑)

そういう堀川での自由な教育のすべてが、その後、歴史や文学を紐解いたり、ヨーロッパの美術館を巡る興味にもつながり、そしてそれはどこかで今の仕事に活かされていると感じています。

Q. 時代と共にその頃とは、堀川高校も地域の環境も変わりましたね。

A. この界限でも小学校の同級生でその頃からずっと住んでるのはうち一軒だけになりました。寂しいですね。同窓会を介してその絆とか地縁をつなぐということも大切かと思えます。進学校になって色々な地域から堀川高校に入ってきて、確実に素晴らしい人材も輩出していくでしょうし、色々変化して



いきます。だからこそ、この京都のど真ん中にある堀川高校の歴史や伝統をつないでいくことが大切だと思います。

Q. 理事として今後の堀川同窓会についてどのようにお考えでしょうか？

A. まず大切なのは、同窓会というのは個々の利害でつながっているものではありません。だから何をすることも和気あいあいとした雰囲気なければなりません。それと同時に堀川の卒業生には凄い人達もいっぱいいらっしゃるんで、同窓会主催の講演会など文化的な事業もやっていけばいいのではないかと考えています。これから世の中がどのようになっていくかわかりませんが、同窓会から文化的なことも含め色々な発信をすることで堀川の絆を繋ぐことが出来ればいいのではと考えています。

～インタビューを通じて～

和気あいあいとした雰囲気の中、素晴らしいお仕事ぶり、お人柄に触れさせていただき、インタビューする側も大変楽しく、時間を忘れお話を聞かせて頂きました。山口様、本当に貴重な時間を有難う御座いました。

インタビューー 伊藤文彰 奥野 達

堀川同窓会からのお知らせ

堀川同窓会は2020年で112周年を迎えます。

永年休眠状態にあった同窓会ですが2008年の100周年記念事業に向け、活動を活性化させたのが2003年のことです。それから早17年が経ちますが、その間、110周年記念同窓会での葉加瀬太郎氏のコンサートをはじめ、毎年の同窓会開催を軸に様々な活動を行って参りました。

還暦学年が同窓会実行委員を担当するようになってから7年が経過し、同窓会の理事・役員組織も年々整ってきております。

そこで、活動の場を広げるべく毎年4月に行われる同窓会と共に、秋のイベントとして堀川ゴルフ倶楽部（HGC）を開設し、昨年トライアル大会を開きました。（次ページ参照）他にも、文化的な活動やグルメ倶楽部等々、様々な案が検討されています。

今後、他校の同窓会組織なども参考にしながら、意義のある活動を益々広げていく所存ですので、会員の皆様の積極的なご参加をお待ち申し上げます。

**『堀川同窓会お見合い相談室』
(仮称)の開設準備のお知らせ**

現在、堀川同窓会では、同窓会活動の一環として、同窓生ご本人、同窓生のご子息・ご令嬢、ご兄弟を対象に、同窓生および同窓生ご家族相互のお見合い相談室を設けることを計画しています。

ご意見やお問い合わせがございましたら、お気軽に下記担当までご連絡をください。

堀川同窓会お見合い相談室

担当 上田 孝 電話 090-7493-2455
事務局 大八木一壽 電話 090-3618-9118

第1回 HGCゴルフコンペ 成功裏に終了

昨年の秋、第1回HGC（堀川同窓会ゴルフ倶楽部）ゴルフコンペを開催いたしました。今回は初回でもあり、全卒業生に案内する方法もごさいませんでしたので、口コミによる一部の卒業生のための告知となったことから、トライアル開催となりましたが、高3期から高31期までの幅広い年代の23名の卒業生が参加し、ゴルフ～表彰式～パーティーと楽しい一日となりました。

日時：令和元年9月28日（土）

場所：京都大原パブリックコース

OUT 9:00 IN 9:00 同時スタート

※表彰式・パーティー会場は場所を変えてムッシュいとう（三条河原町）にて開催しました。同窓会市田ひろみ会長や理事、役員の方も参加され大いに盛り上がりしました。

【表彰】

栄えある第1回優勝は、中村玲子さん（高25期中村一郎さんの奥様）でした。

OUT51、IN47、GROSS98、HDCP26.4、NET71.6の成績で、市田会長から優勝トロフィーが授与されました。三賞受賞者は、ベストグロス賞（伊藤文彰さん高30期）、最多バーディ賞（伊藤文彰さん高30期）、ニア・エイジシュート賞（辻倉幸三さん高3期）でした。ニアピン賞やドラコン賞、参加者全員に順位賞、また、同窓会会長や理事の方々から特別表彰賞品をご提供いただき、参加者全員に多くの賞品をお持ち帰りいただきました。

【令和2年度 第2回 HGCゴルフコンペ 開催予定】

基本的に、毎年10月の第2土曜日（ゴルフ場は未定）の開催予定とします。本年は令和2年10月10日（土）の予定ですが、諸般の都合を考慮したうえで最終決定します。

下記要領にて、たくさんの方々のご参加をお待ちしております。

- ★HGC会員資格については、堀川同窓会会員又はそのご家族の方であればどなたでも会員になれます。会員には本大会（1回/年）の案内に加え、練習会（6回程度/年）の案内をします。
- ★HGCの活動状況や、現在の会員名簿は、堀川同窓会ホームページの「堀川ゴルフ」に掲載しています。

ご興味のある方は、まず、会員登録をお願いします。

（本大会や練習会のご案内を送付いたします。）

以下のいずれかの方法で会員登録をお願いします。

- ①堀川同窓会ホームページの「堀川ゴルフ」から
- ②電子メール(horikawa_dosokai@yahoo.co.jp)へ送信
- ③HGC本部へ電話でもOKです。

（事務局 大八木一壽：090-3618-9118）



スタート前全員集合



HGC部長 中村一郎さんによる始球式



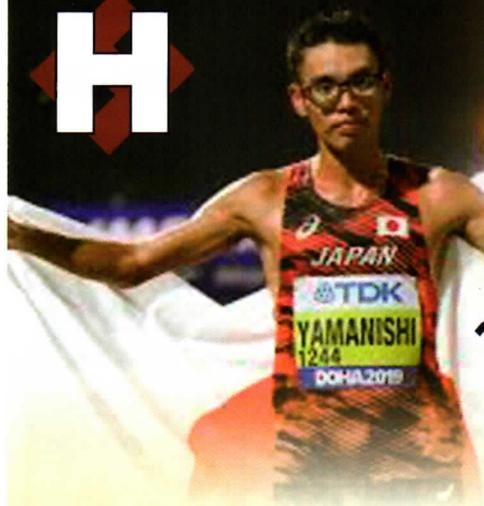
優勝は中村玲子さん



表彰式/パーティー（於 ムッシュいとう）

112回 堀川同窓会のお知らせ

H



第112回

堀川同窓会

～オリンピックイヤーだよ!! 堀川同窓会～

今年の堀川同窓会は同封ちらしの通り、オリンピック出場の山西選手を指導されていた陸上部顧問・船越康平氏に講演いただきます。当時の秘話等興味あるお話がきけそう。音楽科ご出身の姉妹のピアノ連弾も！ぜひご参加ください！

日時：2020年4月18日(土) 11:30受付 正午開宴

会場：京都東急ホテル 京都市下京区堀川通五条下ル西側
〒600-8519 TEL075-341-2111

会費：7,000円

式次第 (予定)

- 11:30 受付
- 12:00 開会
船越康平氏による講演 堀川賞授与式
- 13:00 乾杯 歓談後
田代晶子・末松玲子 姉妹によるピアノ連弾演奏
- 14:45 閉会



船越康平監督

1973年 京都市生まれ (46歳)
大学卒業後 都内出版社勤務。陸上競技選手として活躍
JICAよりアフリカジブティ共和国へ3年間活動。現地陸連のコーチ兼テクニカルアシスタントとして世界陸上カナダ大会フランス大会他、多くの国際大会にスタッフとして参加。帰国後、京都で国語科教員となる。
2008年 堀川高校へ赴任 ～
2016年 陸上競技部顧問
陸上競技部顧問として山西選手を指導。卒業後も指導を続ける。現在も直接・間接のアドバイスを続けている。2016年より 京都工学院高勤務。



田代晶子(高20音)

1968年堀川高校音楽科を卒業後、京都市立芸術大学・ウィーン国立音楽大学を卒業。
大阪芸術大学、京都市立京都堀川音楽高校で後進の指導。
現在は京都音楽院講師。
ソロ、連弾デュオ、室内楽、オーケストラとの共演、伴奏などで活動。



末松玲子(高23音)

1972年京都市立堀川高校音楽科を卒業後、京都市立芸術大学音楽部を1976年卒業。
1977年～81年オーストリア・ウィーンへ留学。国立芸術学校ピアノ演奏学科を優秀賞を得て卒業。
ラジオ大阪、KBS京都で音楽番組のパーソナリティを務め、「音楽的好奇心」に磨きをかける。京都新人音楽家選奨を受ける。

*お申し込みは別紙「FAX申込み書」をご覧の上、内容に沿ってお申し込みください。

高30期卒業生紹介

昨年の同窓会の幹事学年は高30期(昭和53年卒)が担当しました。ほんの一部ですが各界で活躍する卒業生をご紹介します。



にいみ あきお
新実 彰男

皆様初めまして。私は錦林小・近衛中出身で、堀高時代は囲碁・将棋部の主将を務め、軽音楽部でキーボードを弾いていました。歯科医であった父親の意向も受けて、京都大学医学部に進み、大学では部活(バレーボール)や麻雀など課外活動?に明け暮れましたが、卒業後は小児期から自身が患っていた喘息の専門家を志し、呼吸器内科に進みました。和歌山の病院赴任とイギリス留学以外は京大病院での勤務が続きましたが、2012年に現職に異動し、喘息と長引く咳を専門とする診療・研究、医学生や若手医師の教育に従事しています。距離は近いものの京都とは文化、風土が大きく異なる名古屋での単身生活に漸く馴染んできた昨今です。昨年の堀高同窓会を契機に懐かしい同級生や諸先輩・後輩の方々との交流の機会が増えたことを嬉しく思っています。65歳の定年後は京都に戻って皆様と一層懇意にさせていただき、楽しい老後生活を送ることを夢見ています。今後とも宜しくお願い致します。

【プロフィール】

111回堀川同窓会 副実行委員長
名古屋市立大学呼吸器・免疫アレルギー内科学教授
京都大学非常勤講師
日本アレルギー学会常務理事
日本呼吸器学会理事
日本咳嗽学会副理事長



名古屋市立大学大学院医学研究科呼吸器・免疫アレルギー内科学
集合写真(前列向かって左から3人目が新実)



名古屋市立大学医学部学生との懇親会
(ムッシュいとう 名古屋店にて)



やの みつひろ
矢野 三博

四条小橋の象牙屋の三代目として生まれた私は、堀川高校、関西学院を卒業後、4年間の会社勤めを経て、家業を継ぎました。父が亡くなると、商店街の役員として、四条通の賑わいづくり、街づくりの活動にも参加することとなりました。

商売人の感覚から将来の商店街の姿を見据えて、先進的な交通まちづくりを行政に提案し、議論と工夫を重ねました。そして、ゆったりとした広い歩道と二車線の車道の四条通に生まれ変わりました。

皆さん、今の風景が当たり前になっていると思いますが、思い返せば、4年前までは、歩道側の車道の一車線が客待ちタクシーで埋まり、バス停は16カ所も点在して、3.5メートルの幅員であった歩道は、バス待ちの方で混雑し、休日ともなると歩くことも、ままならない状況でした。

街づくりに終わりはありません。「風格と華やぎのメインストリート」を目指しての次の一手の議論と取り組みは、既に始まっています。

【プロフィール】

四条繁栄会商店街振興組合 専務理事
株式会社 アイブリ屋 代表取締役
都市交通政策技術者認定
(京都大学大学院工学研究科低炭素政策ユニット)





きしだ らんこ
岸田 蘭子
(旧姓 三好)

卒業からもう40年以上の月日が経った今も、“堀川高校”という響きは、自分史の一部であったと実感しています。教職につき、小学校の教壇に立ち、今はまさかの地域の高倉小学校の校長という、思ってもみなかった立場に身を置かせてもらっています。しかし、堀川の絆は強く、学校を取り巻く方々には地域の同窓の好みということで懇意にいただいたり、助けていただいたりしたことも数々ありました。また、現在の堀川高等学校の生徒と児童の交流はもとより、歴代の校長先生との親交を結ばせていただくこともできました。今も昔も地域の堀川高校であってくださることを大変嬉しく誇りに思っています。還暦を迎える学年が幹事として記念同窓会のお世話をするとすることも、久しぶりに同級生と顔を合わせてその意味が納得できた気がしています。懐かしく温かく互いを思いやれる友達や先輩の存在はかけがえのないものです。堀川高校ならびに堀川同窓会の益々

のご発展をお祈りしています。

【プロフィール】

京都教育大学大学院教育研究科修了。京都教育大学教育学部附属小学校、京都市立学校教諭から広沢小学校校長を経て平成26年4月より京都市立高倉小学校校長に着任し現在に至る。小中一貫教育・コミュニティスクールの取組をはじめ、歴任した学校で地域の保幼園と小学校をつなぐ保幼小連携を進める。小学校・幼稚園・保育園での家庭教育講座等で子育てや食育の講演も行っている。著書「小学校ではもう遅いー親子でいられる時間はそう長くないー」(PHP研究所)2017.12月に刊行。



やまだ みおる
山田 実

堀川高校は、叔母や叔父それから弟も卒業した学校であり、身近に同窓生がいます。また、大学卒業後、非常勤で堀川高校定時制にも勤めたことがあり、私にとっては卒業後も関係が深い学校でした。高校時代の思い出は、制服もなく、授業が2時間連続のため1日の教科が少なかったことです。教科担当の先生がお休みになると2時間連続の休講になることも時々あり、校外で遊んだことが思い出されます。このような、自由な高校生活を送っていました。

高校生のときに仏像彫刻をしたいと思い進学しました。

そこで現代彫刻と出会い、学び、1979年より京都を中心に活動を始めました。主に京都アンデパンダン展、京展、京都美術展等に出品してきました。近年は、展示空間と作品の関係性に着目し、個展を中心に発表しています。また、私の彫刻作品が京都市内に5点設置されています。

1984年からは京都彫刻家連盟(現在 京都彫刻家協会)に入会して、野外展等に出品しています。この協会は、京都で制作活動をしている作家に呼び掛けて1969年にでき、植物園の野外彫刻展や文化芸術会館で協会展を開催してきた団体です。今年50周年を迎え記念誌などの記念事業を計画しております。

現在、京都彫刻家協会の会長を務めており、展覧会の企画や運営を行っています。振り返ると制作活動は40年を迎えていました。

【プロフィール】

京都彫刻家協会 会長
基礎造形研究所 代表
彫刻家 (造形構想家)



位置—関係 (N35° 00' 30" E 135° 46' 02" Alt 45m)
山田 実
柳池中学校 閉校記念 2003年3月



EHO-恵方 (2019年 東北東 N35° 02' 53" E135° 45' 51")
山田 実
2019京都野外彫刻展 出品 2019年9月2日 府立植物園展示



昨年、話題を呼んだ、映画「ハロー・ワールド」に登場する錦高校のモデルとなっているのは、堀川高校です

堀川同窓会ホームページを検索しよう！



<http://horikawa-dosokai.com/>

トップページ	母校は今	沿革	校長インタビュー	役員ご挨拶	同窓会の歩み	同窓会事務局	毎日新聞掲載
堀川ゴルフ	第111回同窓会	同窓会写真	学年同窓会情報	活躍する卒業生	同窓会報	会員データ変更	お問合せ

昨年(111回)の同窓会の写真はここから！

学年別の同窓会情報はここにあります！
登録ご希望の学年は、「問い合わせ」から投稿してください。

住所変更や物故者登録はここから！

活躍する卒業生の情報はここにあります！
自薦他薦問いませんので、是非、登録してみてください。



HGC(堀川同窓会ゴルフ倶楽部)を発足し、毎年、秋のイベントとして、春の同窓会とともに堀川同窓会の両輪事業として開催しています。第1回コンペの写真や表彰式や懇親会の様子はここから！

参加資格は、会員及びそのご家族。

ご興味のある方は、まず、下記から会員登録お願いします。本大会や練習会のご案内を送付いたします。

- ①ここから会員登録
- ②電子メール (horikawa_dosokai@yahoo.co.jp) から会員登録
- ③事務局へ電話 (大八木一壽：090-3618-9118) でもOKです

編集後記

まずは会報の編集にあたりご協力いただきました皆様に、心より御礼申し上げます。

昨年の第111回同窓会の企画・立案に始まり、この同窓会報の編集まで担当することは、実行委員の面々にとって、還暦を迎える年になって初めて経験するようなことばかりでした。2万人以上の会員に発信する同窓会という大事業を、多くの同級生の仲間が集まり、共に進めていくことは、学年だけの同窓会では味わうことのできないような一体感を感じさせてくれましたし、まるで高校現役時の文化祭のようでした。集まるたびにお酒を飲むことが当時とは少し違いますが…

久しぶりに訪ねた堀川高校には昔の面影はほとんど感じられま

せんでした。長い歴史のなかで変化するのは当然で、母校が進学校として注目を浴びることは、勿論卒業生として誇らしく感じます。反面、女学校であった時代も、音楽科と同じ高校だった時代も、地域制で公立高校を受験する生徒が学校を選ばなかった時代も、すべて歴史であることも間違いありません。今回のお役目を通じて、長い堀川高校の歴史の奥深さや先輩諸氏の想いに触れることができたことも、大変素晴らしい経験でした。これまでも、そしてこれからも長く続く堀川同窓会のほんの一時に関われたことを感謝して、微力ながら同窓会を応援していきたいと思っております。

111回堀川同窓会実行委員一同